



# 住んでみたい・住み続けたい・ときめきの皆野づくり

皆野町長 石木戸 道也

明けましておめでとうございます。町民の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃から町政進展のためご指導ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、平成30年7月豪雨や北海道胆振東部地震など大規模な災害が続き、日本各地で甚大な被害が出ました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

その中でも明るい話題として、山口県周防大島町で3日間行方不明となつた2歳の男児を発見したスーパードラゴンティアの尾島春夫さんに大きな注目が集まりました。被災地の支援を続けられている姿勢、気概には大変感激いたしました。

大選手が東京マラソン2018でマラソン日本男子記録を16年振りに更新する快挙を果たし、更にその記録を大迫傑選手が更新するなど、日本人選手の活躍に胸躍る1年となりました。

今年はいよいよラグビーワールドカップが日本で開催されます。会場となる熊谷ラグビー場のこけら落としが昨年10月に行われました。またとない機会です。是非試合を観戦してみたいかがでしょうか。

町においては、「合歡の盆」秩父音頭まつりが第50回を迎えました。記念事業として「秩父音頭と俳句資料展」や「着物でめぐる秩父音頭のふるさとツアー」などの新たな催しも行われました。今後も伝統を大切にしつつ、魅力あふれる秩父音頭まつりとなるよう取り組んでまいります。

皆野町出身で「おそ松さん」を連載中の漫画家シタラマサコさんがみな観光大使に就任されました。「のだめカンタービレ」の作者である二ノ宮知子さんとともに、町をPRしていただくことを期待しています。

交通死亡事故ゼロ更新日数が11月23日で8年となりました。26日に記念式典を開催し、交通安全団体4団体に感謝状を贈呈いたしました。今後も交通ルール遵守などの啓発活動を推進してまいります。

昨年から続いている浅草との交流では、9月8日に行われた浅草雷門盆踊りにおいて秩父音頭を披露しました。メインステージに皆野町の櫓を設置し、皆野町、秩父音頭を全国に向けてPRすることができました。町の活性化につながるような交流を

進めてまいります。また、4月23日から多くの皆様のご支援をいただき4期目の町政を担わせていただいております。引き続き、「子育て支援」「元気で長生き対策」「安全快適な環境整備」「学力・体力・豊かな心を育む教育」を4本柱として、「住んでみたい・住み続けたい・ときめきの皆野」づくりを進めてまいります。

今年も力強く、スピード感を持って、皆様に共感いただける確かなまちづくりに取り組んでまいります。本年も町民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

# 賀正



## 安心で安全な「笑顔あふれるまち」をめざして

皆野町議会議長 大澤 金作

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新春のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。また、町政の発展のため日頃から多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

私が議長に就任し、早くも10か月が過ぎようとしておりますが、その多忙さと責任の重さをあらためて感じるとともに、皆野町のさらなる発展のために、引き続き努力してまいりたいと新年の決意を新たにしております。

さて、昨年を振り返りますと、非常に災害の多い年でありました。2月の北陸豪雪、6月に大阪北部を襲った震度6の地震、7月の台風7号

による西日本豪雨、9月に発生した直下型の北海道胆振東部地震、等々、災害への備えは待ったなしの急務とされる事態となりました。災害は「想定外」でありながら頻繁に発生しており、「もしも」の想像力を働かせながらの災害対策、今後日本全体が協力して支援を促進していく必要性を強く感じているところでです。

災害続きの中での明るいニュースとして記憶に刻まれているのは、ベテランならではの救出劇と言う事で、行方不明になった2歳男児を捜索20分で発見、救出した尾島春夫さんです。スーパードラゴンティアとして一躍脚光を浴びました。このように出来る範囲での、皆様のご経験、お知恵をお借りしながら、連携を取りながら「住んでみたい

まち 住み続けたいまち ときめきの皆野」のより一層の安心・安全な町づくりを目指して参ります。

町議会におきましては、「町民に開かれた議会」をめざし、議会活動を深く理解していただけるよう、「議会だより」を発行しております。皆様の声を聴きながら、更に開かれた議会をめざしてまいります。

平成30年度からはみらい創造課が新設され、地方自治体の自主自立が一層重要となるなか、地方創生に向けての事業を進めているところで。将来の人口減少・超高齢社会に向けた「持続可能なまちづくり」「若者や高齢者が住みやすいまちづくり」の実現に向け、子育て支援、福祉の充実、経済の活性化を目指して

の観光資源の発掘、就労・結婚支援等、さまざまな町政の課題解決に向けて、町当局とともに、議会一同誠心誠意努めてまいります所存です。平成最後の流行語大賞は「そだねー」になりました。

このように「平成最後の〇〇」も流行言葉となりましたが、新しい年、またこれから迎える新しい元号に気持ちを新たにすると共に、一貫して貫いていく信念を携えて「町民目線」を忘れず町民の皆様と歩んで行く所存です。

皆野町にとりまして、新しい年が活力にあふれ、町民の皆様が笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう心より祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。